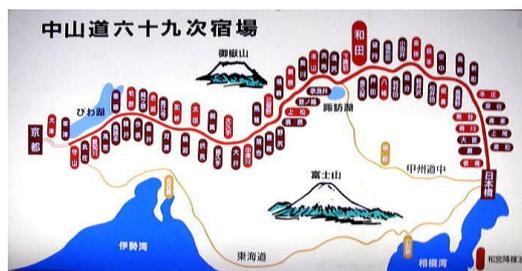


寅さん歩 その19

バーチャルウォークで

中山道（東下り）を歩くー6



平野 武宏

バーチャルウォーク東海道五十三次で京都・三条大橋に到着した寅次郎、帰路はバーチャルウォーク中山道六十九次で江戸・日本橋へ戻ります。

今回は各宿場を紹介しながら、京都からの中山道（東下り）を楽しみます。各宿場の紹介は山と溪谷社の「歩いて旅する中山道」を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

前回は大田宿から大湫（大久手宿）まで歩きました。今回は大井宿から妻籠宿まで歩きます。

[大井宿] 岐阜県恵那市大井町横町 最寄駅 JR中央本線 恵那駅

2024年3月28日 大井宿（京都・三条大橋から189km）に到着しました。大井宿は現在の恵那市街の一部で、昔の面影を残す建物も多く、6つの枡形の宿場歩きが楽しめます。枡形は狭い土地に少しでも多くの建物を建てられるようにと道を直角にしたとか、城を建て城下町にしようとして敵の侵入を防ごうとしたとかの諸説があります。写真下左は本陣跡にある江戸時代初期に建築の本陣門と枡形、写真下右は格子の美しい町屋建物のひし屋資料館です。



[中津川宿] 岐阜県中津川市新町・本町・横町

最寄駅 JR中央本線 中津川駅

2024年4月1日 中津川宿（京都・三条大橋から199km）に到着しました。中津川宿は木曽路と美濃路の接点の宿場です。山の中の木曽路を歩いて来た旅人は久しぶりの町となります。江戸時代後期の家が連なっています。道は柵形で直角に曲がっています（写真下左から写真下右へ進む）。



中津川の名物は昔の旅人もほおぼった「五平餅」（写真下左）と「栗きんとん」（写真下右）です。五平餅は木曽路各宿場の名物です。



ここまでが美濃路で、これから木曽路（岐阜県・長野県）に入ります。

[落合宿] 岐阜県中津川市落合 最寄駅 JR中央本線 中津川駅

2024年4月2日 落合宿（京都・三条大橋から203km）に到着しました。本陣跡や常夜灯が目を引く静かな宿場です。

写真下左は加賀藩前田家から火事見舞いで贈られた門が今でも残る井口家本陣跡です。現存する本陣建物は皇女和宮や明治天皇が使用され、保存されています。写真下右は枡の角に立つと常夜灯です。



[馬籠宿] 岐阜県中津川市馬籠 最寄駅 JR中央本線 中津川駅

2024年4月4日 馬籠宿（京都・三条大橋から207km）に到着しました。
馬籠（まごめ）宿は山の斜面に位置し、眼下に美濃国を眺望ことができます。



しかし風の通りがよく 1895年（明治28年）の大火でほとんどが焼失してしまい、今ある家並み（写真上左右）はその後の復元されたものです。馬籠生まれの島崎藤村は代表作「夜明け前」で馬籠の名を全国に広めました。

馬籠峠を越えると長野県に入ります。

[妻籠宿] 長野県木曾郡南木曾町妻籠 最寄駅 JR中央本線 南木曾駅

2024年4月4日 妻籠宿（京都・三条大橋から215km）に到着しました。
妻籠（つまご）宿は国の伝統建築物群保存地区に選定され、完全に江戸時代後期の有様を保っている宿場（写真下左）です。写真下右は本陣です。



寅次郎、2001年（平成13年）第15回飯田やまびこマーチ記念大会企画で飯田峠越えのウォーキングで大平いろりの里に泊まり、翌日は木曾路を下り、妻籠から馬籠にゴールする木曾路ウォークを体験しました。自炊したいろりの里の夜や、木曾路を歩いた印象が強く脳裏に残っています。

今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝